



〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場636
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

牛の異常産をワクチンで予防しましょう！

流産、早産、死産、胎子の体形異常などを主徴とする「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因で発生します。中でも、**蚊やヌカカが媒介するアカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病**による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きいと言われています。牛の異常産は全国で散発しており、熊本県でも2013年及び2019年にアカバネ病が、更に2019年にはピートンウイルスの関与が疑われる異常産が発生しました。加えて、**2022年の県内の抗体保有状況調査では、アカバネウイルスの流行が示唆されました**。異常産を引き起こすこれら4つの疾病は、**ワクチンを接種することで予防できます**ので、母牛にワクチンを毎年接種し、農場及び地域全体の抗体保有率を高めることが重要です。

疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	ピートンウイルスの関与を疑う異常産	チュウザン病
発生時期	夏～翌年春			秋～翌年春
臨床症状				
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）			
ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 			<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない
	異常産3種混合ワクチン（アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症） 異常産4種混合ワクチン（上記+ピートンウイルスの関与を疑う異常産）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 ・未経産牛及び前年度未接種の繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年度に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 			

豚流行性下痢（PED）について

PEDとは、豚といのししが感染し、全ての日齢に関係なく発生します。主に冬季に好発し、特に2週齢以下の子豚で死亡率が高い感染症で、家畜伝染病予防法において届出伝染病に指定される疾病です。

【症状】

・繁殖母豚

死亡はほとんどありませんが、泌乳低下及び停止が認められることがあり、哺乳豚の病勢悪化の原因となります。

・肥育豚、育成豚

食欲減退、元気消失及び水様性下痢が認められますが、約1週間程度で回復し死亡することは稀です。また、感染しても発症しない豚も認められます。

・哺乳豚

嘔吐と水様性下痢が認められます。特に10日齢以下の豚では黄色水様性下痢を呈し、急速に脱水状態となり消瘦します。

発病豚は3～4日の経過で死亡することが多く、致死率は50%前後、時に100%に達することもあります。

【対策】

- ・車両消毒、衛生管理区域専用の長靴・作業着及び畜舎専用の長靴の使用などによる農場内へのウイルス侵入防止
- ・農場立入者の記帳
- ・導入豚の隔離飼育
- ・母豚への適切なワクチン接種
- ・毎日の豚の観察の徹底



発症哺乳豚
※農研機構HP参照



黄色水溶性下痢
※農研機構HP参照

昨シーズン（R3年9月～R4年8月）は3県4農場（熊本県では未発生）で発生し、九州では長崎県で発生が確認されています。今シーズンは現時点での発生は千葉県においてのみですが、本病の予防対策は引き続き徹底する必要があります。

飼養豚に異状が認められた際は、管理獣医師及び家畜保健衛生所への通報をお願いします。

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	肉用鶏（2件）	令和5年1月11日、2月27日
			ウズラ	令和5年2月21日
	H5N2	台湾	採卵鶏（2件）	令和5年2月21日、2月23日
			地鶏（2件）	令和5年2月21日、2月23日
アフリカ豚熱		台湾	家きん	令和5年2月
		台湾	家きん	令和5年2月
	ロシア	野生いのしし		令和5年1月2日
		韓国	豚	令和5年2月11日
			野生いのしし（68件）	令和5年1月～2月

令和5年(2023年)3月1日現在

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

